

第1章 平成20年度事業の概要

1. 基本的考え方

(1) 基本方針

北海道の優れた資源・特性を活かし地域の自立・活性化を図るため、北海道の成長力強化を支援する施策や安全・安心に暮らせる地域の実現を図る施策を推進するとともに、限られた予算で最大限の効果を得られるよう、事業効果の高い社会資本整備や産業振興に資する施策を総合的に展開します。

2. 主な事業・調査

北海道開発に係る所要の事業・調査を総合的に推進します。

(1) グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

食料安全保障の観点から、食料自給率の向上に向けて国内農水産物の消費拡大を促進しつつ、食料供給力の強化を図ります。生産・加工・流通等の食にかかわる産業において、食品の安全性を確保した上で、高付加価値化を図り、海外の農水産物や食品にも対抗し得るように競争力を強化し、あわせて、輸出促進を図ります。

また、自然や気候風土がはぐくんだ個性ある景観や歴史・文化、安全で高品質な農水産物等、アジアの中でも特徴的で、魅力的な観光資源を活用して、国内はもとより、東アジア地域を始め海外との観光交流の拡大を図ります。

1) 農水産物の生産性の維持・向上

- ・ほ場の大区画化と農地の利用集積のための国営農地再編整備事業の実施（妹背牛地区及び富良野盆地地区 **新規着工**、美唄地区及び東宗谷地区 **新規調査**）
- ・農業用水路等の施設の機能を維持するための国営造成土地改良施設整備事業（幌新地区及び清里地区 **新規着工**）、国営総合農地防災事業（空知川地区 **新規着工**）、国営かんがい排水事業（北海地区、土幌川上流地区、兵村地区 **新規調査**）の実施



妹背牛地区 地区全景

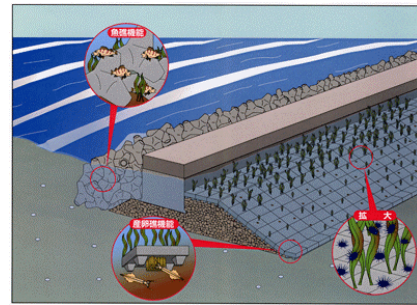
- ・排水機能の向上を図るための直轄明渠排水事業（なかがわ地区 **新規着工**）の実施
- ・農業用水の安定供給のためのダム建設事業（夕張シューパロダム、徳富ダム等）の実施
- ・豊かな漁場環境の創造に向けた藻場・干潟等の整備（久遠漁港等）



清里地区 たん水被害状況



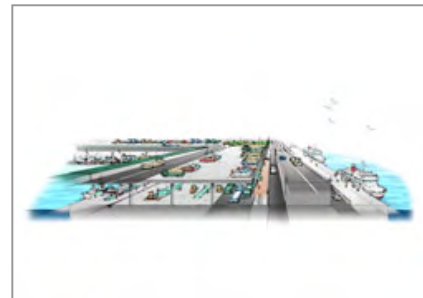
夕張シューパロダム



久遠漁港 島防波堤イメージ

2) 安全で高品質な農水産物の生産

- ・畑地かんがい用水の確保のための国営かんがい排水事業の実施（北見中央地区 **新規調査**）
- ・地域資源の活用・地域環境の負荷を軽減する国営環境保全型かんがい排水事業の実施（根室地区 **新規調査** 等）
- ・衛生管理の強化に対応した漁港の整備（ウトロ漁港（斜里町）等）
- ・国際物流戦略チームによる農水産品輸出拡大への取組



ウトロ漁港 人工地盤イメージ

3) 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成

- ・四季を通じて観光・広域レクリエーションの拠点となる大規模公園等の整備（滝野すすらん丘陵公園（札幌市）等）
- ・「外国人ドライブ観光 in 北海道」の推進に関する調査の実施 **新規**
- ・観光地の水質浄化・改善の推進（網走川清流ルネッサンスⅡ・小樽港等）
- ・観光振興の拠点となる旅客船ターミナルの整備（釧路港・網走港等）
- ・国際交流機能向上のための国際旅客ターミナルの整備（新千歳空港）



滝野すすらん丘陵公園（こどもの谷）



湖岸の利用状況（網走湖）



網走港旅客船ターミナル

（２）地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成

持続可能で美しい北海道の実現に向けて、北海道の豊かな自然環境の価値を維持し向上させるとともに、生物多様性の損失など自然環境の変化、天然資源の減少、地球温暖化といった地球規模での環境問題に対応し持続可能な社会を構築していきます。

また、北海道に豊富に存在する自然エネルギー源を活かし、エネルギー問題の解決や地球温暖化対策について先導的な役割を果たします。

1) 自然環境の保全・再生

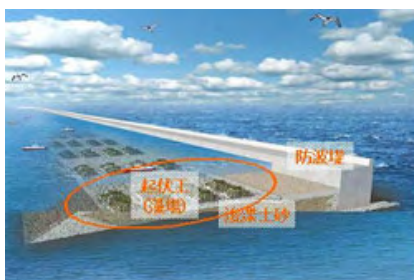
- ・世界自然遺産「知床」及び周辺地域における自然環境の保全（網走川、野付崎海岸等）
- ・ラムサール条約登録湿地等における自然再生事業の実施（釧路湿原、サロベツ湿原等）
- ・自然環境の保全に資する下水道の整備促進（礼文町等）
- ・河川環境の連続性確保のための既設砂防えん堤のスリット化（布部川等）
- ・水生生物の生息環境との調和に配慮した防波堤の整備（釧路港）
- ・運河の水質回復による魅力ある水辺空間の創出（小樽港）
- ・自然と共生した持続的な農業生産の振興（サロベツ地区、南標茶地区、鶴居第2地区）



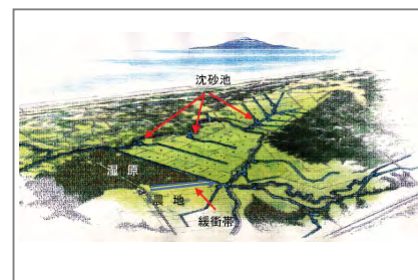
釧路湿原（釧路川）



既存砂防ダムのスリット化 イメージ



釧路港 島防波堤イメージ



サロベツ地区 整備イメージ



小樽運河 汚泥除去による水質回復

2) 循環型社会の形成

- ・北海道に適した新たなバイオマス資源の導入促進のためのモデル事業の実施 **新規**
- ・地域の未利用バイオマス資源活用実証調査の実施 **新規**
- ・地域に存在する水産系廃棄物等の有効活用検討調査の実施
- ・総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)の整備等による効率的な静脈物流ネットワーク構築の推進(室蘭港・苫小牧港・石狩湾新港)
- ・下水処理水を活用した流雪溝の整備促進(札幌市)
- ・堤防除草刈草やダム流木等の有効活用



ダム流木の有効活用

3) 低炭素社会の形成

- ・産業排熱等を有効活用した地球にやさしい北国の居住形態の創出に関する調査の実施 **新規**
- ・ゼロエミッション型エネルギー地産地消エリアの形成に関するモデル調査の実施
- ・CO₂の吸収等多面的機能を保持する港湾緑地の整備(苫小牧港等)
- ・グリーン庁舎の整備等の推進
- ・下水処理場における下水汚泥を活用した消化ガス発電の導入の促進



下水汚泥消化ガス発電イメージ (江別市水道部要覧より)

(3) 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

多様で個性ある地域から成る北海道を実現するため、医療、福祉、教育、情報、商業など地域の暮らしを支える都市機能を広域的な生活圏において維持し、各地域の特性を最大限活かした魅力と活力ある地域社会を形成していきます。

また、都市における機能の強化や人口低密度地域における地場産業の育成、二地域居住といった新たな居住形態の創造など、活力ある地域社会モデルへの取組を進めます。

1) 都市の再生・中心市街地の活性化

- 札幌市における都市再生プロジェクトの推進
（札幌駅前通地下歩行空間整備事業、創成川通アンダーパス連続化事業（札幌市））
- 駅周辺整備やまちなか居住の推進（北彩都あさひかわ（JR旭川駅周辺鉄道高架事業、土地区画整理事業、忠別川水辺プラザ（旭川市）、JR函館本線連続立体交差事業（野幌駅付近）（江別市）等）
- 地域のまちづくりに寄与する官庁施設の整備等の推進（旭川地方合同庁舎）
- 港の振興を通じた地域の活性化や地域の特色を活かしたにぎわいの創出（稚内港・網走港）
- 都市再生計画を支援する函館国際水産・海洋都市構想の推進に向けた弁天地区埠頭の整備（函館港）



札幌駅前通地下歩行空間整備イメージ



創成川通 アンダーパス連続化イメージ



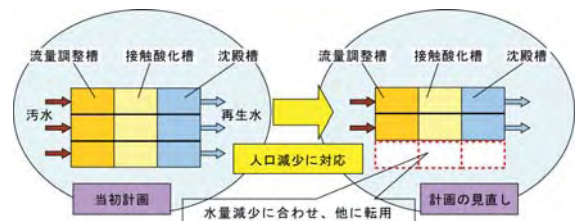
旭川駅前広場 完成イメージ



稚内港 北地区全体イメージ

2) 活力ある農山漁村社会モデルの形成

- 地域住宅交付金によるU・Iターン者等の定住促進の支援（中札内村等）
- 人口低密度地域における活力ある地域社会モデルの構築
- 人口規模の変化に対応可能な下水道の整備促進（苫前町）



人口規模の変化に対応可能な下水道（概略図）

3) 誰もが暮らしやすい生活環境の実現

- ・バリアフリー化等の環境整備による高齢者・障害者が暮らしやすい公的賃貸住宅の供給促進（釧路町等）
- ・子育て世帯の優先入居を行うとともに地域に子育て支援サービスを提供できる公営住宅（子育て支援住宅）の整備の促進（足寄町等）
- ・地域との協働による冬期歩行者転倒防止策の推進
- ・官庁施設のバリアフリー化の推進
- ・積雪寒冷地における冬期ライフスタイル・インノベーションに関する調査の実施 **新規**



足寄町北団地（あしよろ子どもセンター）

（4）内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

道内外の拠点を結び経済活動を支えるネットワークの強化とモビリティの向上を図るとともに、広域分散型社会に対応した地域交通・情報通信基盤の形成や、積雪寒冷な気候に対応した冬期交通の確保を図ることにより、活力ある地域経済社会の基盤を整備していきます。

1) 物流の効率化・機能強化

- ・国際水準の物流ネットワークの整備（北海道横断自動車道（本別～釧路）、道央圏連絡道路（美原道路）等）
- ・産業や暮らしを支える多目的国際ターミナルの整備（苫小牧港・十勝港等）
- ・港湾物流を円滑化する臨港道路の整備（函館港等）
- ・物流効率化のための外貿・内貿ターミナルの整備（白老港等）
- ・航空物流機能強化のための貨物地区の整備（新千歳空港 **新規**）



一般国道337号



苫小牧港 多目的国際ターミナル



十勝港多目的国際ターミナル

2) 総合的交通ネットワークの構築

- ・北海道の骨格を形成する基幹ネットワークの整備
- ・国際交流機能向上のための国際旅客ターミナルの整備（新千歳空港）（再掲）
- ・空港の機能保持のための滑走路改良等（釧路空港等）
- ・既存橋梁の長寿命化を図る橋梁補修の実施



既存橋梁の長寿命化

3) 冬期における信頼性の高い交通の確保

- ・積雪寒冷地における就航率改善のための整備（新千歳空港 **新規**、稚内空港）
- ・冬期の交通円滑化を図るための除排雪及び路面管理の実施
- ・雪崩や地吹雪等により冬期に交通障害が発生する危険性の高い箇所における雪崩予防柵・防雪林等の整備



稚内空港 冬期の状況

(5) 安全・安心な国土づくり

北海道は、水害による被害額が全国でも有数であるとともに、多数存在する活動的な火山による災害、日本海溝・千島海溝等で発生する地震災害等の危険性が高く、自然災害に対してはまだ脆弱な地域であり、さらに、地球温暖化に伴う気候変動等による集中豪雨等の増加や海面上昇等、災害リスクの増大が懸念されます。このため、安全・安心な国土づくりを着実に推進していきます。

1) 自然災害に対する防災対策

- ・千歳川流域の治水対策を始めとする根幹的な治水施設の整備（石狩川、十勝川等重要水系における河川整備、多目的ダムの建設等）
- ・近年発生した災害を踏まえた緊急的な治水施設の整備（留萌川大和田遊水地、余市川等）
- ・火山噴火や集中豪雨による土砂災害への対策の推進（樽前山等の遊砂地整備、豊平川等の砂防えん堤整備等）、荒廃山地等の復旧整備
- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画に基づく地震・津波対策の推進（耐震強化岸壁の整備（苫小牧港、釧路港）、津波漂流物対策（釧路港等）、海岸保全施設の強化、津波避難場所の保全、地震津波情報提供のための



千歳川流域浸水状況（昭和56年8月上旬洪水）



留萌ダム

施設整備、空港施設の耐震性の向上等)

- ・高潮、海岸侵食による甚大な被害を防止する海岸事業の実施（網走港海岸等）
- ・災害時に地域の復旧・復興拠点となる防災公園の整備促進（日の出公園(苫小牧市)、東光スポーツ公園(旭川市)）
- ・都市内の堆雪空間としての機能を有する公園の整備促進（五天山公園(札幌)）



釧路港 津波漂流対策施設



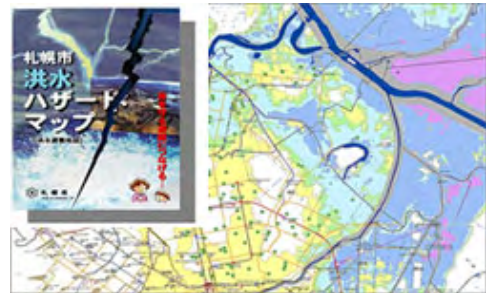
網走港海岸



東光スポーツ公園 完成イメージ

2) 地域防災力の向上

- ・市町村のハザードマップ作成への支援、住民参加型の防災訓練の実施、防災教材を用いた地域の防災教育への支援、防災情報共有システムへの市町村等の参加促進、防災情報収集のための機器の整備等
- ・道路情報板による気象警報や通行止めの見通しに関する情報提供のためのシステム整備
- ・河川防災ステーションの整備（札幌市、旭川市等）



洪水ハザードマップ



防災情報共有システム イメージ



旭川地区河川防災ステーション 完成イメージ

3) 安全な道路環境の確保

- ・交通事故の多い区間における集中的な事故対策事業の実施、正面衝突事故対策であるランブルストリップス（車線逸脱を知らせる路面の凹型の配列）の整備等



ランブルストリップス

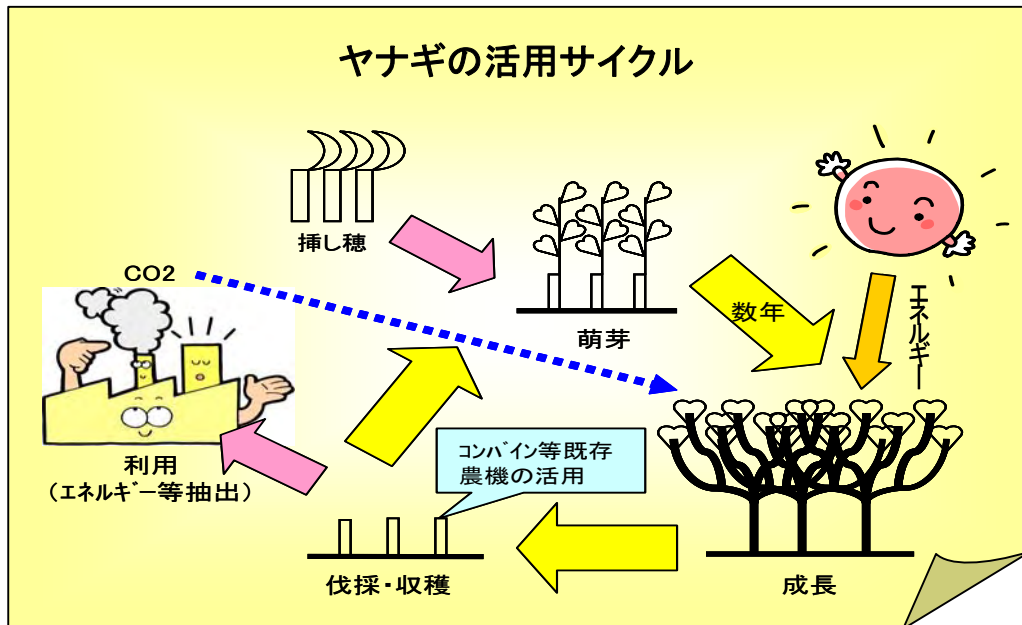
3. 開発計画調査の推進

環境・エネルギー問題の解決や産業振興に資する分野を中心に地域特有の資源・特性を活用した先導的な取組を推進するなど、北海道開発計画費等を活用し、地域の自立・活性化に資する種々の施策を展開します。

平成20年度北海道開発計画調査では、地域の未利用エネルギー源の有効利用など地球温暖化対策に資する分野を中心に、北海道の優れた資源・特性を活用した先駆的・実験的な調査に取り組みます。

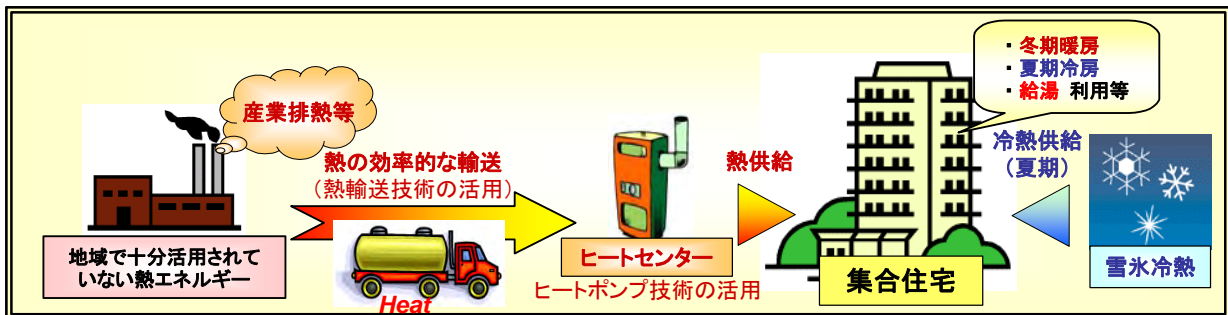
北海道に適した新たなバイオマス資源の導入促進事業

寒冷な北海道に適し、食料需給に影響しないバイオマス資源（資源作物としてのヤナギ）の安定的生産・利活用システムを確立し、その導入を促進するための調査・検討を行います。



産業排熱等を有効活用した地球にやさしい北国の居住形態の創出に関する調査

北海道では冬期の暖房のための灯油使用量やCO₂排出量が多いことを踏まえ、産業排熱等地域で十分活用されていない熱エネルギーを有効活用した北国の居住形態に関する調査・検討を行います。



地域の未利用バイオマス資源活用調査

地域の未利用木質系バイオマス資源を有効活用するために、小規模コージェネレーションシステムによるエネルギー利用方策について調査・検討を行います。

ゼロエミッション型エネルギー地産地消エリアの形成に関するモデル調査

北海道の酪農・畑作地帯において、自然エネルギー源を有効活用して、温室効果ガスや廃棄物の排出を可能な限り抑制する農場モデルに関する調査・検討を行います。

地域に存在する水産系廃棄物等の有効活用検討調査

北海道において相当量発生する水産系廃棄物の有効活用方策に関する調査・検討を行います。

「外国人ドライブ観光 in 北海道」の推進に関する調査

レンタカーを活用して広域に分散する観光地を外国人観光客が個別のニーズに応じて周遊できるよう、外国人ドライブ観光の受入れに向けた環境整備に関する調査・検討を行います。

「エコイノベーション観光地モデル in 北海道」構築調査

観光客の滞在・行動による環境負荷低減を図る先駆的・先導的取組を推進し、「エコイノベーション観光地モデル」を構築するための調査・検討を行います。

東アジアとの双方向の持続的交流に関する調査

北海道と東アジアとの交流・連携を推進するため、北海道との経済交流が盛んな台湾をターゲットに、地域資源を活かした特色ある地域戦略を確立するための調査・検討を行います。

積雪寒冷地における冬期ライフスタイル・イノベーションに関する調査

本格的な人口減少・少子高齢社会の到来を前に、新たな技術の導入・活用を通じて、住民生活と雪処理の在り方を総合的に見直し、新たな冬の暮らし方に関する調査・検討を行います。